

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・寝具関係の需要が増え、やや良くなる。
		商店街（代表者）	・気候が良くなり観光客等が増え、来街者数が増加する。購買意欲も高いため、売上につながる。
		スーパー（店長）	・店舗年齢の若い店は比較的好調に推移するが、店舗年齢の古い店舗は競争激化の中、苦戦する。
		スーパー（企画担当）	・大型ショッピングセンターや大規模スーパーの影響は依然大きく、来客数や客単価の急速な回復は難しい。しかし春以降、店舗数の増加により、増収の効果が徐々に出てくる。
		衣料品専門店（店員）	・正価販売品の販売中、気候も良くなるためシーズンアイテムの好調な販売が期待される。
		住関連専門店（店長）	・異動時期や衣替えで関連商品が売れるため、販売量はそのまま伸びていく。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・比較的暖かく、客の来店頻度が増えるため、やや良くなる。
		観光型ホテル（スタッフ）	・来期の宴席の問い合わせが多く、現時点では今期の売上を上回る予約状況である。
		タクシー運転手	・来客数が非常に増えてきたので、客単価が上がれば良くなる。
	通信会社（業務担当）	・3月には携帯電話のワンセグ搭載機種をはじめ新商品が出そろう、卒業シーズンによる需要の伸びも期待でき、来客数、販売数共に上昇する。	
	変わらない	商店街（代表者）	・中心部の来街者は多いが、買物をする客は少ない。量販店が近くにあり、押され気味である。
		商店街（代表者）	・郊外店の出店が相次ぎ、中心部への集客が難しくなっている。
		商店街（代表者）	・卒業、入学、就職等何かと出費がかさみ、食に対する出費を抑える傾向にある。またゴールデンウィークになると観光地に客を奪われ、商店街の厳しさは続く。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・近隣にスーパーが開店するため、店への客足が伸びる。
		百貨店（売場主任）	・春物の動きが良いのはプラス要素であるが、3月以降の商品量に不安が残る。
		百貨店（営業担当）	・現金決済が減少し、クレジット決済の伸張が続いている。購買意欲はあるが消費減少傾向は続く。
		百貨店（業務担当）	・暖冬の影響で動きが鈍化した衣料品の反動に期待はするが、堅実な選択消費の傾向は変わらない。
		百貨店（営業企画担当）	・価格志向や品質志向といった客の変化や競争環境の変化、市場環境の変化への対応が遅れており、今後も厳しい状況が続く。
		百貨店（売場担当）	・紳士服に価格の下げ止まり感があり、若干期待できるが現状維持にとどまる。ただし少しずつ暖かくなってくれば春物関係は上向いてくる。
スーパー（店長）		・単価が落ち、販売数量も減っており、厳しい状況が続く。競合店も客足は安定しておらず、総じて厳しい。	
スーパー（店長）	・衣料品は今後も厳しいが、旅行関係のキャリーケースや健康関連の飲料、米関連の雑穀などが非常に好調に推移しており、今後も良くなる。またおもちゃではキャラクターグッズ等の新製品は売行きが好調で入荷待ちの商品もたくさんある。		
スーパー（店長）	・衣料品関係、雑貨を中心に単価が今一つ上がらないため、上向き傾向は望めずこのまま推移する。		
スーパー（総務担当）	・客の動向として必要なものは購入するという状況が続いているため、今後も好調に推移する。		
スーパー（総務担当）	・客の購買意欲が上がらず、厳しい状況は続く。		
コンビニ（エリア担当・店長）	・近隣の事業所の撤退、移転が続き、付近の地域の人数が減っているため、今後も厳しい状況は続く。		
衣料品専門店	・老舗デパートが長期にわたって閉店セールを行っているのに加え、郊外に大きな複合施設ができており、競争激化が懸念される。		
衣料品専門店（店員）	・今年は新入学用の子供服の動きが早く、1月から売れているため、3月はあまり期待できない。もっと暖かくなって婦人のカジュアルが本格的に動けば、販売量が増える。しかし客は必要な物以外は買わなくなっており、楽観はできない。		

	家電量販店（店員）	・最新のパソコンの登場で、旧型を安価に設定し、売上が上がった。これから最新のもののみを売っていくことになるが、古いものが売れた分、最新のものの売行きはあまり良くない。
	乗用車販売店（販売担当）	・購入に当たって、客の慎重な姿勢が続いており、3か月先も変わらない。
	乗用車販売店（管理担当）	・台替需要があるため今よりも悪くなることはなく、少し良くなる。金利が上がったが、影響はそんなにない。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・燃料油のメーカー仕入価格は3月に値上げが予想されている。小売価格は仕入価格が反映されるため、値上げが予想されるが、出荷量はほぼ横ばいとなる。
	高級レストラン（専務）	・競合店が多く出店し、中心街の賑わいがいないため、今後も良くならない。
	観光型ホテル（営業担当）	・ある程度の予約は入っているが、客単価は横ばいで推移しており、今後も変わらない。
	都市型ホテル（副支配人）	・7、8月までの予約状況は非常に良く、今後も好調に推移する。
	タクシー運転手	・3、4月は人の動きがあるが、夜の飲食関係や旅行等を控える傾向にあるため、あまり変わらない。
	テーマパーク（職員）	・3月中下旬からゴールデンウィーク前までの予約の伸びが今一歩である。
	ゴルフ場（従業員）	・景気はかなり上向いている。当日に予約して来る客が増えており、客にゆとりが出てきた。
	美容室（店長）	・例年のごとく3、4月は売上が伸び、今年も予約状況が良いので良い方向に向かっている。
	設計事務所（代表取締役）	・国及び地方公共団体の緊縮財政の状況は今後も変わらず、民間への発注は控えられ。民間の建設需要は種別が限られている。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・客の消費動向が悪くなっているのに加え、郊外に大きな商業施設ができ、時計店や病院でも客や患者が減ったと聞いている。今後も厳しい状況が続く。
	百貨店（営業担当）	・昨年9月の増床オープン後、中心街の来客数は増えてはいるが、商店街の各個店の厳しい状況は続いており、閉店する店も増えている。この傾向はますます強まる。
	百貨店（販売促進担当）	・顧客離れが進んでおり、顧客の単価アップも望めないため今後も厳しい状況が予想される。
	スーパー（店長）	・暖冬により、春物衣料は売れず夏物衣料が売れると予想される。また競合店もできるので、価格競争で来客数が前年比90%程度まで落ちると懸念される。
	スーパー（経理担当）	・春先から競合他社の出店が活発になり、競争が激しくなる。
	コンビニ（販売促進担当）	・キャンペーンをしているにもかかわらず食パン、菓子パンの売行きが鈍っている。また、客単価も下がっており、今後も厳しい。
	乗用車販売店（従業員）	・トラックの総需要が減っており、厳しい状況は続く。
	住関連専門店（経営者）	・耐久消費財である置き家具は買い替えまでのサイクルが長いにもかかわらず、低価格の輸入品が増える傾向にあり、経営的に厳しい状況が続く。
	高級レストラン（経営者）	・例年3月は異動の時期で公務員等の送別会が多いが、今年は予約がほとんどない。
	都市型ホテル（総支配人）	・新規出店ホテルが200室、増築ホテルが250室と続き、競争が激化している。
	旅行代理店（従業員）	・国内線の航空運賃の値上げもあり、4月は前年を下回る。桜商品も、開花予想が難しいのか、間際予約になりそうだ。
	悪くなる	
	良くなる	
企業動向関連	やや良くなる	
	農林水産業（経営者）	・鳥インフルエンザの影響は3、4年前の京都の発生の時ほどではない。加えて春先の行楽シーズン、異動時期も含めスーパー関連業務筋の伸びに期待する。
	鉄鋼業（経営者）	・民間建築の需要が堅調に続いており、今後も新規及び増設計画が自動車関連や半導体、物流センター、大型商業施設などで本格化する見込みである。また相変わらず新築マンションの建築も堅調であり、建築資材の需給はひっ迫することが予測され、メーカーはフル生産の状況が続く。
	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車関連が来月にも受注できる見込みであり、2～3か月先は忙しくなる。

	電気機械器具製造業（経営者）	・新規の客が増え、好調に推移している。
	輸送業（従業員）	・燃料代が下がってきており、同業者はもちろんのこと、取引先も先行き明るい。
	不動産業（従業員）	・分譲マンションの販売状況が堅調に推移している。
変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・製品の動向に際立った動きはないが、新商品の動向は10点くらい決まっている。しかし旧商品の動きがなかなか思うように行かない現状である。同時に外注関係の諸雑費や下請け関係の陶土の単価が値上がりしており、利益の確保が難しい。
	電気機械器具製造業（経営者）	・精密機械部品並びに金型関連は不透明さが増しており、先行きは良かったり悪かったりという状況が続く。
	通信業	・工事量等は変わらないが、今年は例年になく繰り越し工事が多い。
	広告代理店（従業員）	・一般小売業の折込枚数が減少しているのに加え、折込の柱であるパチンコ産業の出稿が頭打ちの状態となっており、折込枚数の伸び率に影響を与えている。今後とも好転の兆しが見られないため、変わらない。
やや悪くなる	農林水産業（従業者）	・飼料価格の高騰が予想されており、今後ますます厳しくなる。
	食料品製造業（経営者）	・納入先の売上に占める観光客の割合は非常に高いが、観光客は確実に減少傾向にある。繁忙期にもかかわらず来客数は低迷しており、買上点数も減少している。
	繊維工業（営業担当）	・後継者不足等で工場も閉めるところが出てきており、今後厳しい状況が続く。
	建設業（従業員）	・見積物件が増えてきたが、鉄筋等資材の高騰及び仕入れが難しく採算面で厳しい面もある。また日本銀行の金利政策で貸出金利の上昇も考えられ、中小企業は金利負担増が見込まれ景気は悪くなる。
	輸送業（総務担当）	・荷動きが悪くなっている商品はあるが、良くなっている商品が見当たらない。しばらく悪い状況が続く。
	通信業（職員）	・受注量が減少する要因がいくつか出てきた。
	金融業（得意先担当）	・客の中から金利に対する懸念の声が聞かれ、今後金利の引き上げの動向によって資金需要は停滞するため、やや悪くなる。
悪くなる		
雇用 関連	民間職業紹介機関（職員）	・求人件数や求職者動向を見ても堅調に推移している。中堅クラスの採用が増えている。
	民間職業紹介機関（支店長）	・雇用情勢が求人難の局面に入った。適任の人材確保・供給が追いつかない職種がある。
やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・雇用状況も安定して、職種によっては人手不足がある。
	民間職業紹介機関（社員）	・季節需要が翌年度の1～3期にまたがる傾向にあり、中短期の派遣需要は活発化している。一方で、長期派遣は直接雇用化の動きが進んでおり、夏以降の企業の採用動向を注視する必要がでてきた。
変わらない	人材派遣会社（社員）	・派遣オーダーは増加傾向にあるが、長期を中心にスタッフと条件が合わず、成約率は減少傾向にある。年度末を控えてはいるが、まだ企業に多忙感が感じられない。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人広告の動向を見ても、特定の業種に偏りがある。また、流通・サービス業では人手は欲しいが人材募集できない経営状況にある。
	職業安定所（職員）	・事業廃止やテナント撤退などの事業主都合による離職も少なくない。
	職業安定所（職員）	・窓口に来ている失業者、求職者の状況は以前に比べて緊迫感やあせり感が減ってきている。高望みをしなければいつでも仕事があるというような安堵感が見受けられる。
	職業安定所（職員）	・毎年4、5月は3月末の退職者で新規求職者の増加が見込まれる。一方、求人は定期採用が終わり落ち込む時期にあり、月間有効求人倍率は下降していく傾向にある。しかし今年度は団塊世代の1年目の退職時期であり、補充のための求人が期待され、求人倍率の大きな変化はない。
	職業安定所（職員）	・新規求人の減少傾向が続いており、短期間では改善されない。
やや悪くなる		
悪くなる		